

三鷹まちづくり フォトコンテスト 入賞作品展

応募者数 延べ4,702人 総応募作品数 14,110点

1995年から始まった三鷹まちづくりフォトコンテスト。第1回から第29回までの入賞作品、全756点の中から選ばれた26作品の一部を『広報みたか』でご紹介します。全26作品は(株)まちづくり三鷹HPでご覧いただけるほか、第30回記念特別企画講座(下記)でも取り上げます。

力作ぞろいの
作品です



審査員で写真家の
林義勝さん

\\ 記念すべき第1回金賞作品! //



「メルヘン」相沢麻里さん(1995年)



「燃える夏・阿波踊り」千葉俊廣さん(2004年)

三鷹の夏の風物詩



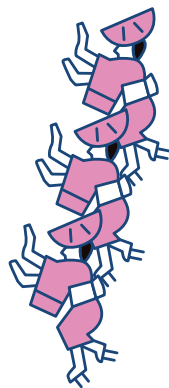
「春雪の朝」内田一成さん(2020年)



桜と雪の
幻想的な景色



「クライマックス」松永正行さん(2003年)



「燃える富士山と鳥の巣」三瓶巧さん(2008年)

第30回 三鷹まちづくり フォトコンテスト 作品募集中!



応募対象

令和7年1月1日～12月31日に市内で撮影した、ほかのコンテストなどに応募予定がない作品

応募締切

令和8年1月7日(水)

応募方法

応募フォーム(QRコード)にアップロード
(1人何点でも応募可)

●第30回記念企画「みんなが選ぶ特別賞」の 選考にご参加ください

全応募作品の中から、集まった「いいね!」の数で受賞作品を決める特別賞です。

申同コンテストHPへ

8月31日(日)開催!

三鷹まちづくり フォトコンテスト 第30回記念 特別企画講座 参加者募集!



同コンテスト審査員で(公助)日本写真家協会会員、林忠彦作品研究室代表の林義勝さん、同じく審査員で朗読家の原きよさんを招き、写真が語る昭和の世相や文化、三鷹のまちの魅力についてお話しいただきます。

◆第1部 写真家 林忠彦が見た昭和

太宰治の肖像写真なども撮影した昭和を代表する写真家、林忠彦さんの作品について、息子の林義勝さんが解説します。

◆第2部 みんなでシェアする三鷹の魅力

上記掲載作品を含む、林義勝さんが選出した入賞作品について、原きよさんとともに解説します。

日8月31日午後2時～4時30分 人50人 所三鷹産業プラザ

申8月20日(水)までに申し込みフォーム(QRコード)へ(申込多数の場合は抽選)



「太宰治 酒場ルパンで、銀座」
昭和21(1946)年
©林忠彦作品研究室